

【出エジプト記 22 章】

TLCCC FRH

「在留異国人を苦しめてはならない。～すべてのやもめ、またみなしごを悩ましてはならない。」(22 節)

今の法規に通じる定めが書かれてあります。 聖なる神、愛の神に対して、人間にも「聖なる民」であるようにまた同時に「愛の民」であるようにと教えています。21 節、在留異国人に対するあわれみ、かつてはエジプトの国で在留異国人であったことを覚え愛と憐みの心を忘れないように諭しています。やもめ、みなしごの神様(ヤコブ 1 : 27)は、3.11 の東日本大震災で孤児となった子供たちに目を留められて、福島県郡山市にファミリーホームを建てるように導かれました。奇蹟的なみ手によって完成し、来年 2 月 20 に開所式が行われ、いよいよ実働に向かって準備がなされています。神様の愛は広く深いですね。

また、29 節には「あなたの息子のうち初子は、わたしにささげなければならない。」とあり始めの大切なものを先ず神様に捧げなさいと命じています。わたしたちの愛と信仰の姿勢を正されています。様々な教えに中々従順することのできないものです。この 1 ヶ月は、深い悔い改めを成し、徹底して感謝を捧げ、新たな年を迎える備えをしましょう。「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」ヨハネ 3 : 16

昨年 11 月に頂いた表紙の御言葉を思い起こし、どんなみわざを見て来たか思い起こしてみましよう。新年度のイスラエル派遣、殉教聖会、冬夏の白馬キャンプ、台湾の王牧師ご夫妻の来日、オーケストラ楽器の使用、カンボジアチーム派遣、福島ファミリー・ホーム完成、ライブやコンサート、各家庭における祝福、、、確かに神様は多くのみわざと人知を越えた恐るべきものを見せてくださいました。ハレルヤ!

10/26～イスラエルチームが派遣され、ガリラヤ湖畔で新年礼拝が持たれます。備えて祈りましょう。またあと 73 日目の 12/23 に東大宮コミュニティーセンターでチャリティーコンサートを行う準備がなされています。また、世界を見れば世の終わりの兆候が次々に起こっています。「にせキリスト、にせ預言者たちが現れて、できれば選民をも惑わそうとして、大きなしるしや不思議なことをして見せます。」マタイ 24 : 24 携挙にあずかれるように教会生活を忠実に守りましょう。聖霊に満たされて、頂いた賜物を用いて主に仕えてゆきましょう!

天に登録されている長子たちの教会

Church of the **F**irstborn who are **R**egistered in **H**eaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:ダニエル大重



Siloam

2015 年 10 月 11 日 No.862

(シロアム:遣わされた者 ヨハネ 9 : 7)

今年のみ言葉 **あなたとともにいるこの民はみな、主のわざを見るであろう。わたしがあなたとともに行うことは 恐るべきものである。**

(出エジプト 34 : 10)



昨年のガリラヤ湖の虹

主の十字架クリスチャンセンター The **L**ord's **C**ross **C**hristian **C**enter

<http://tlcccfrh.astone-blog.jp/>